

JIS

ベクトル数値地質図— 品質要求事項及び主題属性コード

JIS A 0205 : 2019

(AIST)

平成 31 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 基盤技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
(委員)	伊藤 納奈	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	江前 敏晴	筑波大学
	大久保 友恵	レンゴー株式会社
	大谷 聖子	一般財団法人日本消費者協会
	大平 由紀子	日本製紙株式会社
	柿本 章子	主婦連合会
	金田 徹	関東学院大学
	重松 康夫	一般財団法人日本規格協会
	鈴木 知道	東京理科大学
	高橋 かより	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	田原 江利子	王子ホールディングス株式会社
	中本文 男	Na 計測合同会社
	野々瀬 菜穂子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	淵田 隆義	女子美術大学
	古谷 涼秋	東京電機大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.3.20 改正：平成 31.3.20

官 報 公 示：平成 31.3.20

原 案 作 成 者：国立研究開発法人産業技術総合研究所

(〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1 中央第 1 つくば本部・情報技術共同研究棟 TEL 029-861-2000)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：基盤技術専門委員会 (委員長 奈良 広一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 品質要求事項	3
4.1 一般事項	3
4.2 数値データセット	3
4.3 品質報告書	4
4.4 メタデータ	5
4.5 その他の要求事項	5
5 地質図に用いる主題属性コード群	5
5.1 一般事項	5
5.2 地層・岩体の分布を示すために用いる模様及び色のコード	6
5.3 地層・岩体の地質年代を示すコード	7
5.4 地層・岩体の区分単位を示すコード	8
5.5 地層・岩体を構成する岩石の種類を示すコード	8
5.6 岩石群を示すコード	11
5.7 鉱物の種類を示すコード	11
5.8 鉱産物の種類を示すコード	12
5.9 化石の種類を示すコード	12
5.10 地質学的属性を示すコード	13
附属書 A (参考) 数値データ項目の例	174
附属書 B (参考) 主題属性コードの例	176
附属書 C (参考) 凡例付加情報の例	178
附属書 D (参考) 品質報告書の例	179
附属書 E (参考) メタデータの例	181
解 説	183

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、国立研究開発法人産業技術総合研究所（AIST）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS A 0205:2012** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ベクトル数値地質図— 品質要求事項及び主題属性コード

Vector-digital geological-map— Quality requirements and subject attribute codes

序文

近年、情報化技術の進歩に伴って、コンピュータ処理に対応しつつ地質図データの効率的整備、流通及び有効活用の拡大を図ることを目的として、地質図の数値化が急速に進展している。このため、この規格は、数値地質図のうち、特に広い利用が想定されるベクトル数値地質図に関して、その品質を確保する上で必要となる基本的な事項、及びベクトル数値地質図に用いる記号、色、模様、用語、地層・岩体区分などの主題属性を示す主題属性コード（定義、記述、表記及び表示法を含む。）をとりまとめたものである。

なお、日本工業規格の記述では、常用漢字以外の漢字は使えないが、地質学用語では、常用漢字以外の漢字が当てられていることが多い。誤解を避けるため、この規格では、常用漢字以外の漢字が当てられている地質学用語については、例えば、“しゅう曲（褶曲）”のように、日本工業規格に従った表記の直後に括弧書きで本来の表記を示した。ただし、煩雑さを避けるため、この措置は初出の箇所だけとした。

1 適用範囲

この規格は、地質図を保存、交換、再現、編集などのためにベクトル数値地質図として公開・提供する場合に、その品質を確保する上で必要な基本的事項について規定するとともに、異なる作成者、異なる利用者、異なる場所及び異なる出力形式の間で地質図を誤りなく再現する上で必要な地質図の記号、色、模様、用語、地層・岩体区分などの主題属性を示す主題属性コード（定義、記述、表記及び表示法を含む。）について規定する。

なお、地形図、地理調査などに基づいて作成される主題図は、地質図とは異なるためこの規格を適用しない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 0204 地質図—記号、色、模様、用語及び凡例表示

JIS X 7115 地理情報—メタデータ

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS A 0204** によるほか、次による。